

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性	持続	基本政策	6 経営基盤の強化		施策	6-1 財政基盤の強化		事業	6-1-3 資産・資金管理の効率化		担当課	上下水道総務課	
総事業費	331,686千円	事前・中間評価											
計画額	令和元年度(予算額)	令和2年度(予算額)	令和3年度(予算額)	令和4年度(予算額)	令和5年度(予算額)	令和6年度(予算額)	令和7年度(予算額)	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 ・セキュリティ強化のため、使用端末のOSをアップグレードします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。 			
総事業費	165,581千円	終了時評価											
決算額	27,273千円	29,209千円	29,417千円	29,850千円	49,832千円	27,931千円							
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入力し、蓄積することでデータベースの精度を高めることができました。 ・令和元年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成し、令和2年度以降、各課が要望する老朽管・電気設備の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲を検証しました。 ・令和2年度予算編成において、浄配水場の更新費用が減少したことや令和元年度末の現金残高、令和2年度の資金需要などを精緻に見込み、料金改定時の見込みを踏まえ、可能な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができました。 ・OSアップグレードを遅滞なく完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入力し、蓄積することでデータベースの精度を高めることができました。 ・令和2年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成し、令和3年度以降、各課が要望する老朽管・浄配水場の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲を検証しました。 ・令和3年度予算編成において、令和3年度末の現金残高、令和4年度の資金需要などを精緻に見込み、料金改定時の見込みを踏まえ、可能な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入力し、蓄積することでデータベースの精度を高めることができました。 ・令和4年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成し、令和5年度以降、各課が要望する老朽管・浄配水場の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲を検証しました。 ・令和5年度予算編成において、令和5年度末の現金残高、令和6年度の資金需要などを精緻に見込み、可能な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入力し、蓄積することでデータベースの精度を高めることができました。 ・令和6年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成し、令和7年度以降、各課が要望する老朽管・浄配水場の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲を検証しました。 ・令和7年度予算編成において、令和7年度末の現金残高、令和7年度の資金需要などを精緻に見込み、可能な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入力し、蓄積することでデータベースの精度を高めることができました。 ・令和8年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成し、令和9年度以降、各課が要望する老朽管・浄配水場の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲を検証しました。 ・令和9年度予算編成において、令和9年度末の現金残高、令和10年度の資金需要などを精緻に見込み、可能な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができました。 								